

はしがき

森淳二朗先生は、この度、福岡大学法科大学院を定年により御退職になられ、現在、これまでの長きに亘る御研究を実務に活かされながら、弁護士として御活躍中である。

本論文集は、このような森淳二朗先生に対する祝賀として、捧げられるものである。

森淳二朗先生は、昭和44年に、大阪府立大学経済学部助手として、研究活動に着かれて以来、九州大学法学部教授、福岡大学法科大学院教授等として、会社法を中心とする商法学の発展に、永年、尽力されてこられ、その御研究によって、学界の発展に大きく貢献されるとともに、社会に対しても広く問題を提起されてこられた。

そこで、森淳二朗先生に直接あるいは間接に教えを受けた我々が集い、本論文集の出版を企画し、森淳二朗先生に所縁のある先生方に御執筆を御依頼したところ、数々の珠玉の御論文を頂戴することができた。お寄せいただいた御論文は、平成26年の会社法改正との関連、国際的動向との関連、学際的研究との関連等の多様性のあるテーマを含み、先端的なものから根源的なものまで、広がりりと深みに満ちた御論文ばかりである。ここに御執筆を賜った先生方に対し、心より厚く御礼を申し上げる次第である。

また、学術出版の困難な状況の中にあって、本論文集を刊行することができたことは、編集の趣旨に御賛同をいただき、様々な御高配を賜った法律文化社の皆様、特に小西英央氏の御尽力の賜物である。ここに、記して、心より深く感謝の意を表したい。

最後に、森淳二郎先生が、いつまでもお健やかであられ、商法の御研究と実務等に益々御活躍なされることを、執筆者一同とともに、心より祈念申し上げる次第である。

2018年（平成30年）5月吉日

編者 徳本 穰（代表）

徐 治文

佐藤 誠

田中 慎一

笠原 武朗